



東 侯 野 6 月 号

東侯野小学校 学校だより 平成27年5月29日

自転車の運転に注意を！ 子どもが加害者になることも！

校 長 村田 幹男

先日、戸塚区学校警察連絡協議会の場で、戸塚区内の交通事故は大変多いという話がありました。二輪車の事故が多いこと、中学生以下の子どもの自転車による事故の件数もかなり増えていることなど、学校や家庭で、改めて啓発していかなくてはいけないと思った内容でした。

本校の学区でも、今年になってからの自転車事故を数例聞いています。スピードを出したまま右折した直後に人と接触した事故。一時停止をしないでそのまま道に入ったことにより自動車と接触した事故。これらはいずれもT路地で起きた事故です。また、下り坂でスピードを出していた自転車が転倒してひどい擦り傷を負ったという話も聞いています。

自転車事故にまぎこまれないように気を付けることも大切ですが、自転車に乗る側として事故をおこさないように安全な運転をすることは、もっと大切なことです。子どもが加害者になって大変な思いをすることもあるのです。

実際に小学生の運転する自転車によって、歩行者がはねられたり、ひっかけられたりした結果、歩行者が亡くなったり、重度の障害を負ったりする事故が発生しています。その結果、被害者側が起こした損害賠償を求めた訴訟の判決では、多くの場合、加害児童及びその保護者に対して賠償責任を負うように裁判所に命ぜられ、多額の金額を支払うことになっている事例が新聞でも報道されています。スピードの出し過ぎが原因だったり、携帯電話等を使用しながらの前方不注意だったり、安全運転をしなかったことが原因とされ、保護者に対しては、自転車の運転に関する十分な指導をしていなかった、監督責任が問われるわけです。

本校でもはまっ子交通安全教室などを通して、普段からの自転車の整備や安全な乗り方について指導はしていますが、今一度ご家庭でも話し合う機会を設けていただきたいと思います。

事故が多い時間帯は16時から18時だそうです。放課後の時間帯が要注意ということです。

自転車に乗る前に必ずチェックしましょう！

